



**JASDAQ**  
証券コード：4970  
URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

 **TOYO GOSEI**

第61期 中間報告書

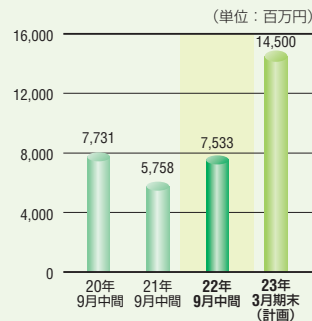
(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

 東洋合成工業株式会社

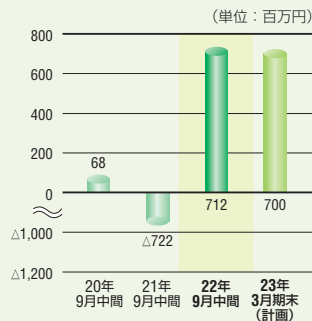
# Financial Highlight

## 財務ハイライト

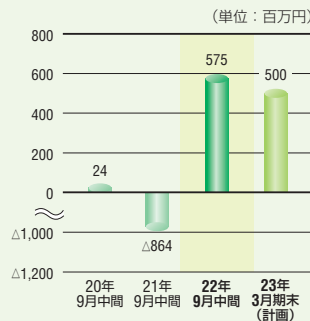
### 売上高



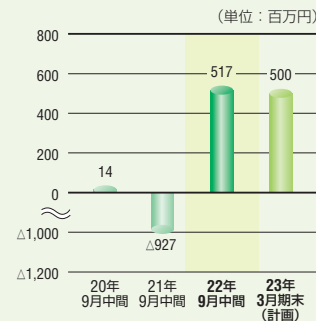
### 営業利益



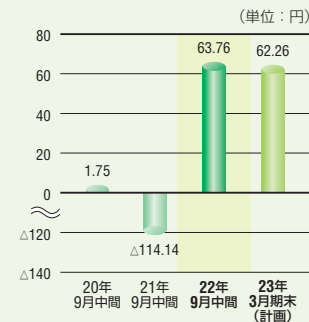
### 経常利益



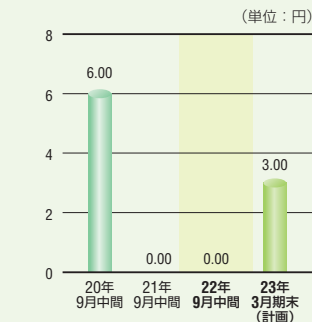
### 四半期(当期)純利益



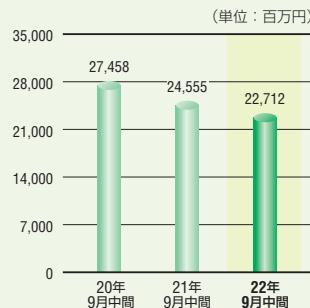
### 1株当たり四半期(当期)純利益



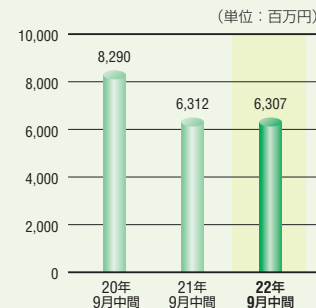
### 1株当たり配当金



### 総資産



### 純資産



※当社は、平成22年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。

# Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

## ■ ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社の第61期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

第61期に入り、新興国を中心とした世界的な景気回復が継続しており、当社の業績は金融危機後の厳しい状況から脱しつつあります。これまでの世界的な不況において、当社は生き残りをかけた活動として、顧客との関係強化による拡販、従業員一丸となった経費削減や原価低減活動等に取り組んでまいりました。当社は、今後も継続して経営改善を推進する所存ではございますが、海外売上比率が高まる中での円高継続や、液晶テレビ等の最終製品の低価格化が加速するなど、不透明なリスク要因は依然として存在いたします。当社はこうした顕在化リスク要因に対処すべく経営改善を継続する一方で、インキュベーションカンパニーとして、地球環境に配慮した省エネルギーに結びつく製品等の新規開発を鋭意推進してまいります。

## ■ 当第2四半期（累計）の連結経営成績

(単位：百万円)	当第2四半期実績（累計）
売上高	7,533
営業利益	712
経常利益	575
四半期純利益	517

## 【感光材事業】

当社の主力事業であります感光性材料の売上は、旺盛な需要に支えられて堅調に推移いたしました。しかし、円高の影響および、液晶パネルの在庫調整入りによる液晶用途向け製品の需要減等も想定されております。そのため、顧客との連携強化による拡販施策を継続し、収益確保に努めてまいります。イオン液体・電解液につきましては、今後の市場拡大を見込み精力的な顧客開拓を進めてまいります。

## 【化成品事業】

香料材料は、新興国トイレタリー市場等の成長を反映し堅調に推移しております。また、溶剤回収精製においても、電子材料業界の需要回復や精力的な営業活動により好調を維持しております。さらに、液体化学品保管業務は、安定的な業

績を維持し、高水準のタンク契約率および、荷動き量を保持しております。

## ■ 通期連結業績予想

(単位：百万円)	通期連結業績予想
売上高	14,500
営業利益	700
経常利益	500
当期純利益	500

今期は、景気回復と経営改善成果の反映により、業績の黒字化を達成できる見込みであります。円高や需要変動等のリスク要因は依然として残りますが、生産体制の見直しや工程改善等をさらに推進し、強い会社づくりをしていきたいと考えております。なお、通期連結業績予想値が当第2四半期実績値（累計）よりも低い数値となっておりますのは、継続が見込まれる円高の影響を考慮した結果であります。今後とも株主の皆様のご期待に沿うよう努力する所存でありますので、引き続き株主の皆様にはご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、通期連結業績予想値は黒字化を見込んでいることから、年間配当金として1株当たり3円の復配（期末配当）を予定しております。

平成22年12月



代表取締役社長

木村正輝

# Segmental Information

## 感光材事業本部

感光材事業・エネルギー事業



常務取締役  
感光材事業本部長  
木村有仁

感光材事業本部の木村有仁と申します。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。当本部では、薄型ディスプレイ/半導体/蓄電池デバイスなどの生産に使用される、“未来を創る、ハイテク材料”を開発～製造～販売しております。今後さらにグローバル化する世界で、お客様に価値を認めていただける製品を安定的に提供するため、機敏に変化に対応できる事業運営を目指してまいります。

## 化成品事業本部

香料材料事業・グリーンケミカル事業



上席執行役員  
化成品事業本部長  
坪田順一

6月より新設されました化成品事業本部を担当いたしております坪田順一でございます。よろしくご願ひいたします。当事業本部は香料材料事業部とグリーンケミカル事業部からなり、創業以来50年以上にわたり培われた高い合成・蒸留技術を背景に、お客様に満足いただける製品を提供すべく、日々努力を重ねております。皆様のおかげをもちまして、近年は世界中のお客様より高い評価を得られるようになりました。しかし、今後ともこの結果に甘んじることなく、よりお客様に満足していただける製品を提供できるよう製品開発と製造コストの削減に努めてまいりたいと考えております。今後ともよろしくご支援のほどご願ひ申し上げます。

### ○感光材事業○ 液晶テレビや半導体の製造を支えています



にも積極的に取り組んでいます。

感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される回路パターンを形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価をいただいております、世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しています。また、大学と共同で次世代型の感光材の研究開発

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

### ○エネルギー事業○ 燃費の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与する未来の液体



製造販売も行っています。

近年、各自動車メーカーでは、ハイブリッド自動車や燃料電池車にエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタを搭載することが検討されています。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液及びイオン液体の製造販売を行っています。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの

所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）

### ○香料材料事業○ 世界に広がる香りをつくる



食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られます。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しています。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定を特徴としており、国内外に幅広く販売しています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

### ○グリーンケミカル事業○ 地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献



塗料、電子・電気部品、自動車、製薬、化学等広範な分野では多様な有機溶剤が使われています。こうした廃溶剤の多くは再利用されることなく大気に放出もしくは、燃焼処理されてきました。当社はユーザーで使用された廃溶剤を引き取り、再利用できるように精製を行い、新品同様に蘇らせます。当社では特に高度な蒸留技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っています。

所在地：市川工場（千葉県市川市上妙典）

## 事業のご紹介

### ○ロジスティック事業○

#### 月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応



高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学製品を船で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のユーザーへ配送を行っています。受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学メーカーとして長年培ってきた化学物の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の体制を備えています。所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）

### 感光材研究所紹介



感光材研究所長  
落合幸徳



感光材研究所は、現在の主力事業の内、感光材事業とエネルギー事業の発展を支える新製品の開発と新事業の開拓を行っています。感光材事業では半導体のますますの高性能化に対応し、最先端のArFエキシマレーザー露光用レジスト材料の開発はもとより次世代技術であるEUV(極端紫外線)露光用レジスト材料の開発にいち早く着手しています。また、エネルギー事業部の製品である電解液とイオン液体に当社独自の製造方法を適用し性能向上を図っています。

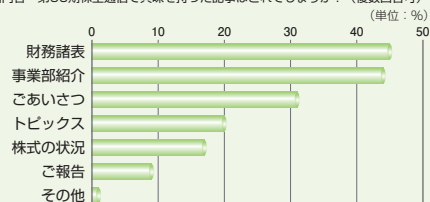
新規事業開発として、ナノテク分野で注目を集めている超微細加工技術であるナノインプリント用の紫外線（UV）硬化樹脂を世界で初めてサンプル出荷し市場開拓を進めています。ナノインプリントはナノメートルオーダーの微細加工が低廉に実現できる手段として半導体からハードディスク、液晶ディスプレイなどの製造技術として期待されています。バイオ分野では、当社独自の細胞非接着性の水溶性感光材を開発し、バイオ関連メーカーに供給しています。さらにこれを用いたアレルギー検査チップの開発を進めており、将来の市場拡大が見込まれる検査機器市場の開拓に取り組んでおります。感光材研究所では、21世紀を担う新製品・新技術の開発を推進し、社会に貢献する事業を開拓してまいります。

## 第60期株主通信株主アンケート結果

株主アンケートへのご協力ありがとうございました。皆様から頂きました貴重なご意見は、今後の経営施策検討の参考とさせていただきます。株主通信に関するアンケート結果を下記のとおりご報告いたします。

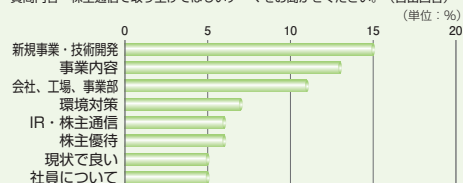
### 第60期株主通信で興味を持った記事

質問内容 第60期株主通信で興味を持った記事はどれでしょうか？（複数回答可）



### 株主通信で取り上げてほしいテーマ

質問内容 株主通信で取り上げてほしいテーマをお聞かせください。（自由回答）



※回答が多かったテーマを掲載しております。  
※回答者数に対する割合のため、合計割合は100%となりません。

## アンケートへのご協力をお願い

今後の経営施策検討にあたり、株主の皆様からも当社経営へのご要望、ご提案を頂きたいと考えております。お手数とは存じますが、同封のアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。ご協力頂いた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を2月中旬頃送付させていただきます。

- ※平成23年1月31日(月)当社着にて締め切らせて頂きます。
- ※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
- ※回答欄の下部に必ず株主番号および、お名前をご記入願います。
- ※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを貼って投函してください。
- ※ご記入頂いた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはありません。

# Financial Statements

## 財務諸表（要旨）

### ■ 貸借対照表（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
資産の部		
流動資産	8,119,705	8,324,212
固定資産	14,593,144	16,230,800
資産合計	22,712,850	24,555,013
負債の部		
流動負債	9,692,141	11,064,430
固定負債	6,713,563	7,178,485
負債合計	16,405,705	18,242,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,247,075	3,154,388
自己株式	△ 83,162	△ 12,578
評価換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 18,328	7,681
少数株主持分	1,082	2,128
純資産合計	6,307,145	6,312,096
負債純資産合計	22,712,850	24,555,013

### ■ 損益計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日
売上高	5,758,576	7,533,847
売上原価	5,534,552	5,722,203
売上総利益	224,024	1,811,643
販売費及び一般管理費	946,697	1,098,965
営業利益	△ 722,672	712,677
営業外収益	78,880	31,491
営業外費用	220,832	168,671
経常利益	△ 864,624	575,498
特別損失	60,726	38,848
税金等調整前四半期純利益	△ 925,351	536,650
法人税等	2,401	20,158
少数株主損益調整前四半期純利益	—	516,491
少数株主損失（△）	△ 592	△ 522
四半期純利益	△ 927,159	517,013

### ■ キャッシュ・フロー計算書（連結）

（千円未満切捨表示）

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112,315	1,270,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,018,351	△ 239,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,637	△ 1,000,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	878,615	847,356

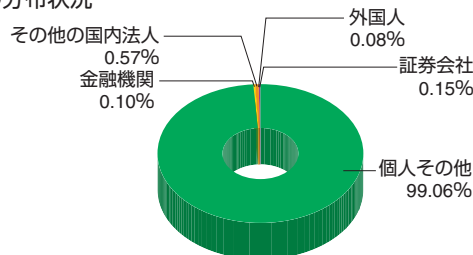
# Stock Information

## 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

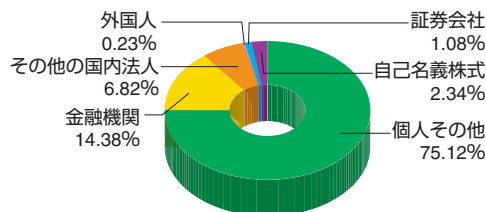
■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	11,255名
■ 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
木村正輝	1,637	20.11
木村有仁	394	4.84
木村愛理	383	4.70
千葉銀行	298	3.66
東京都民銀行	298	3.66
早稲田大学	200	2.46
自己名義株式	190	2.34
片岡文子	183	2.25
東洋合成工業社員持株会	166	2.04
ニッセイ同和損害保険	140	1.72

### ■ 株主の分布状況



### ■ 株式の分布状況



※各数値を切り捨て表記しているため、合計割合は100%となりません。

# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成22年9月30日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本社	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	380名
■ 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売</li> <li>2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売</li> <li>3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売</li> <li>4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売</li> <li>5. 酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売</li> <li>6. 化学機械・装置(反応用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等)の設計、製作並びに設置工事</li> <li>7. 前各号に掲げる物品の輸出及び輸入</li> <li>8. 倉庫業</li> <li>9. 貨物運送取扱業</li> <li>10. 前各号に付帯関連する一切の事業</li> </ol>
■ 事業所	東京営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13番1号 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印西市若萩4丁目2番1号 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
■ 関係会社	株式会社トランスパレント TG Finetech Inc.

### ■ 役員

代表取締役社長	木村正輝
専務取締役	川村繁夫
常務取締役	木村有仁
取締役	菊地英夫
	渡辺宏一
	出来彰
上席執行役員	坪田順一
執行役員	萩原勇一
	佐藤健太郎
	多田優
	島川優
監査役	伊藤衛
	萩原正一
	宇田川進
	鳥井勉

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日 ※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 株式の諸手続き	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。 特別口座をご利用の株主様は、みずほ信託銀行株式会社0120-288-324 (フリーダイヤル)までお問い合わせください。



当社は、事業運営状況や投資家向けの情報公開をするにあたり、Webを主要な手段の1つだと考えております。当社Webサイトでは、最新情報を随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

当社は、企業活動による地域環境負荷の低減に努め、企業活動を通じて地球環境の改善に貢献できるよう取り組んでおります。環境レポートには、当社の環境および、安全への取り組みを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

※環境レポートは当社Webサイトに掲載しております。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

 **東洋合成工業株式会社**

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地  
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055  
E-mail : [ir@toyogosei.co.jp](mailto:ir@toyogosei.co.jp)

